

**第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画の
進捗状況に関する質問等に対する回答**

先日お送りした会議資料に関し、御質問等をいただきましたので、以下のとおり回答させていただきます。

該当箇所	いただいた御質問等	回答
資料No.1-1 整理番号 14、15 「こころの健康づくりについて」	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や健康講座の開催により障害者の理解促進につながったと思うが、支所の健康課が中心となって地域の実情に合った参加しやすい会場と参加しやすいチラシ等の周知で参加者も増加すると思う。 ・こころの不調は本人だけでなく家族も深刻な問題となっている。家族会・友の会等の情報支援を健康課が中心となって会を発足させることで、こころの不安軽減になると思う。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>こころの健康づくり、障害のある人に対する理解の促進、地域共生社会を実現するため、引き続きこころの健康づくりに関する講座や講演会を地域の実情に合わせて開催してまいります。</p>
資料No.1-1 整理番号 16 「精神障害者医療費助成」	<p>[実績見込み] で受給者数 3,300 人に対して、申請件数 34,528 件とあるが、この差は何か。1人10件くらいの申請をするということか。</p>	<p>医療費助成申請は、診療月ごと、医療機関ごと、入院・通院ごとに1件として受付をしているため、受給者数と申請件数に相違が生じているものです。受給者によって医療機関を受診する頻度等が異なるため、1人あたりの申請件数は異なっております。</p>
資料No.1-2 1-(3) 「ショートステイ」	<p>精神障害者が利用できるショートステイをもっと増やしてほしい。(サンスマイル)(浦)(王見台)で何床くらいあるのか。</p>	<p>現在、精神障害者の方が利用できる短期入所事業所はサンスマイル4床、らいこうじ3床、ほっとステイさんわ3床、グループホームハナミズキ1床です。今後も利用実態等を確認しながら、必要な取組に努めてまいります。</p>
資料No.1-2 1-(3) 「自立生活援助」	<p>「自立生活援助」はサービス提供体制が未整備であり、今後の体制整備が必要である、と評価欄にあるが、是非とも整備を急いでほ</p>	<p>長岡市では令和2年度から、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを構築することを目的として、定期的な関係者間の協議の場を設定しています。個別のニーズにつ</p>

	<p>しい。</p> <p>精神障害者の場合、家族と同居が8割くらいで、同居の家族（親）が亡くなったあと、持ち家の管理が難しいという問題が多くある。</p>	<p>いてはここで語り、今後必要なサービスの見極めと、それに伴う整備を計画的に図ってまいります。</p>
<p>資料No.1-2 1-(3) 「共同生活援助（グループホーム）」</p>	<p>全体としては、目標値に近く推移しているが、精神の場合、女子の入れるグループホーム数が少なく、登録待ちの方が何人もいる現状である。女子対応のグループホームの増設が待たれる。</p>	<p>長岡市では令和2年度から、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを構築することを目的として、定期的な関係者間の協議の場を設定しています。個別のニーズについてはここで語り、今後必要なサービスの見極めと、それに伴う整備を計画的に図ってまいります。</p>
<p>資料No.1-2 1-(3) 「施設入所支援」</p>	<p>脱施設の方で将来的には減っていくものと思うが、重度の障害者の在宅支援体制が整わないまま、家族に重い負担を課す方向にいかないように、包括的支援体制を構築してほしい。</p>	<p>今後さらに在宅サービスの充実を図ることで、家族の負担を減らし、重度の障害を抱えた方でも安心して地域で暮らすことができるように、努めてまいります。</p>
<p>資料No.1-2 障害福祉計画部分</p>	<p>全ての障害において、利用者の増加が見込まれる中、昨今の人材不足の影響もあり、受け入れ体制が整わない、思うようにサービスが提供できない、ということが現状として感じられる。具体的な対策等はあるか。</p>	<p>障害福祉施設に限らず、福祉業界全体に携わる人材確保が急務となっていますが、事業者と連携し、業務のPRや体験の場も確保し、人材育成と同時に人材の確保も図っていきたいと思います。</p>